

新鮮！情報便



発行：東京海上日動

<<<<<巻頭言エリア>>>>>

INDEX -----

時の話題「東日本大震災で活躍したマイクロブログ Twitter」

ちょっとしたことわざ「Where there's a will, there's a way.(決意あるところに道あり)」

時の話題「東日本大震災で活躍したマイクロブログ Twitter」

これから暑い夏がやってきますが、皆さん如何お過ごしですか？

東日本大震災のような大規模自然災害が発生すると、携帯電話等の通信機器が輻輳(ふくそう)してつながりにくくなり、連絡を取ることが難しくなります。こうした中で Twitter(ツイッター)が安否確認や被害状況の伝達に活躍しました。

携帯電話・固定電話等で発生する輻輳(ふくそう)って何？

今回の東日本大震災のような大規模な災害が発生すると、安否確認などの電話が爆発的に増加します。電話網も交通渋滞と同じく、通信量が集中すると電話の接続処理が滞る「輻輳(ふくそう)」が発生します。最悪の場合通信全体がダウンし、119番などの緊急通信も出来なくなってしまう可能性があります。

このような事態を避けるため、通信業者は必要に応じて通信量の制御を行い、緊急通信や公衆電話などの優先電話からの利用を除く一般電話・携帯電話の通信に対し発信規制を行います。

メールや Web 閲覧などのデータ通信も輻輳するの？

携帯電話で使われるメールや Web 閲覧などのデータ通信は、パケット通信と呼ばれます。総務省のデータによると、携帯電話各社とも各契約者の使用する音声通話に対しては最大で 70%～90%の発信規制をかけていますが、パケット通信では音声通話と比較して輻輳が発生しづらいため、0%～30%と発信規制が低くなっており、結果として災害時もつながりやすい傾向にあります。

ツイッターはどんな活躍をしたの？

ツイッターは、「Tweet(ツイート)」という 140 文字以内の短文を受発信するコミュニケーションツールの一種です。ツイートとは鳥のさえずりのことで、日本では「つぶやき」と呼ばれています。震災当日には約 3,300 万件(普段の約 1.8 倍)のツイートがあり、その 7 割が震災関連のものだったそうです。ツイッターの特性は、情報が多くの人にリアルタイムで共有され、広く伝わるという点です。電話は輻輳でつながりにくくなりましたが、ツイッターはパケット通信のため輻輳とならず、安否確認や、避難所マップ、原発事故や計画停電などの情報伝達

において、その特性が十分に生かされました。

ただ、ツイッターの情報には間違っただ情報が含まれている場合があります。最近では災害情報をツイッターで発信する公的機関や自治体などもありますので、信頼できる機関からの情報、またはテレビ・ラジオ等の複数のメディアから情報を合わせて総合的に判断をしていく必要があると思います。

【ご注意】 この情報は 2011.7.13 時点の情報です。

ちょっとしたことわざ「Where there's a will, there's a way.(決意あるところに道あり)」

今回は英語のことわざです。日本語訳では「決意あるところに道あり」といったところでしょうか。困難な状況があろうとも、強い意志の力があれば乗り越えられるということですね。プロゴルファーの宮里藍選手もこの言葉をモットーとしているとのこと。とても前向きでひたむきな宮里選手の思いが伝わってきます。

【ご注意】 この情報は 2011.7.13 時点の情報です。

< < < 編集後記エリア > > >

【タイトルエリア】発行元：東京海上日動火災保険（株）

保険情報サービス株式会社 TEL03-5682-7070 FAX03-5682-7071